

# 定置船搭載型ワカメ刈取り装置の開発

## 技術の概要

### ■ 刈取り作業の現状と課題

3～4月ごろに洋上でワカメを刈取り、出荷します。  
一部はボイル塩蔵加工して出荷します。

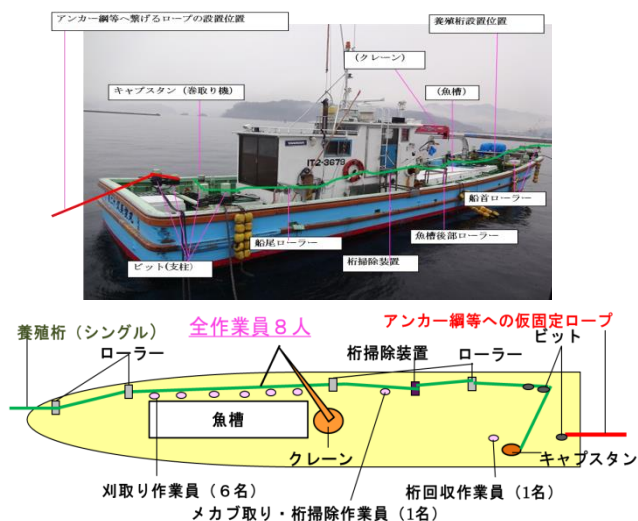
- 作業が短期間に集中。
- 小型漁船で前かがみの姿勢で作業するので、体への負担が大きい。

⇒ 労働環境の改善や省力化が課題となっています。





### ■ 「定置船搭載型の刈取り装置」を開発しました！

定置船に搭載した専用ローラーで養殖桁を定置船の甲板上に引き込み、甲板上を通過する養殖桁のワカメを人手により刈取ります。



## 期待される効果

作業体制 (作業人数8人)	養殖桁100m刈取りに要する時間※
<b>【装置】定置船</b> (8人×17'ル-フ) 	56分
<b>【従来】船外機船</b> (2人×4'ル-フ) 	77分

この装置を用いることにより、

- ⇒作業時間が73%に削減！
- ⇒安全で楽な姿勢で作業できる。
- ⇒桁掃除・回収も同時にできる。
- ⇒少々の時化でも作業できる。

※桁掃除作業を含めた作業時間

【お問い合わせ先】 岩手県水産技術センター企画指導部 TEL 0193-26-7914

当該技術は農林水産省委託事業「食料生産地域再生のための先端技術展開事業」の成果です。